

■法話

智辯学園和歌山小学・中学・高等学校 教諭 長谷川祐龍 先生をお招きしました。

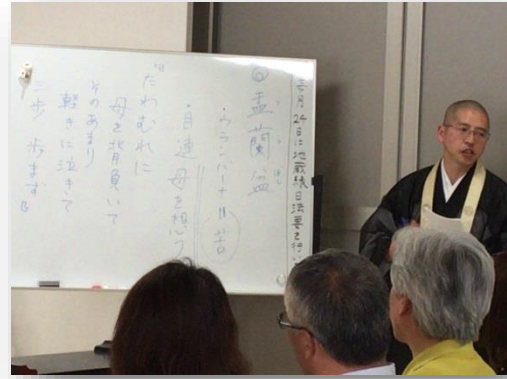
- ・お盆（盂蘭盆）とは、お釈迦様の弟子の目連が、息子である自分を愛するあまり餓鬼道に落ちてしまった母を助きたい…という「母を思う気持ち」で功德を積んだことが発祥と言われている（旧暦7月15日）。お盆は、家族（ご先祖様）への恩返しの日。
- ・母を思う気持ちとして、石川啄木の

『たわむれに 母を背負いて そのあまり 軽きに泣きて 三步 歩まず』を紹介。

見えている世界の「重い」より、見えていない世界の「思い」の方がはるかに大きい。

- ・お施主様はペットちゃんの「母」にあたる。本来のお盆とは順序が逆になってしまうので、小さな命の守り神である「お地藏様」に我が子がより良い所に生まれ変わってくれるよう祈りを捧げて、功德を積む。

と、お話いただきました。



そして、参加者の皆様で、お地藏様のご真言である「おん かかかび さんまえい そわか」を3回お唱えして、我が子が幸せなところにたどり着きますようにと思いをこめました。

■ひまわりとコスモス畑、風のガーデンご紹介

この春、ガーデニング霊園『風のガーデン』を開園いたしました。見ごろを迎えつつある周辺に植えたひまわり・コスモス畑と合わせてご紹介させていただきました。



以上、書中をもちまして、合同供養式典のご報告とさせていただきます。

今後とも、亡くなられたペットちゃんがより良い処に生まれ変わってくださいますことを日々祈り、皆様の心に寄り添っていけるような場所であり続けるよう精進してまいります。

ご不安なこと、ご相談などございましたら、お気軽にお声掛け頂ければと存じます。